

## 企画総務グループ打合せ（平成 18 年度 第 6 回）議事録（案）

- ・ 日 時：平成 19 年 3 月 20 日（火）13:00～15:00
- ・ 出席者：東畑、岸田、柴田、末政（途中出席：編集委員会重複）、石井、西川
- ・ 欠席者：山崎、荏本、樋口、高橋暁、高橋一紀
- 1. 企画総務 G 前回議事録(1/18)の確認
  - ・ 議事録内容が承認された。
  - ・ 東畑幹事長より、「地震ライフサイクルコスト L L C 研究会・講演会」の実施報告が行われた。
- 2. 運営委員会(1/25)報告
  - ・ 委員会の議事内容を確認した。
- 3. 支部強化委員会(2/27)報告
  - ・ 委員会の議事内容を確認した。企画総務 G の担当は支部交流会と損保との関係強化である。
- 4. 評議員会報告(2/27)
  - ・ 評議員会の議事内容を確認した。また、評議員会で指摘があった事項を修正した上で、評議員会後に交代があった役員を掲載した資料と議事録を、支部総会前に評議員へ送付することが了解された。
- 5. 次年度の体制（委員の交代）
  - 平成 19 年度の交代委員について、既に報告が行われた。
  - ・ 山崎副幹事長 北本幸義氏（鹿島建設(株)技術研究所）平成 19 年度も副幹事長 2 人体制
  - ・ 樋口委員 王 林 氏（中央開発(株)）
  - ・ 柴田委員 栗崎夏代子（電源開発(株)）
  - ・ 損保関係の関係強化のために、関係者を来年度早々に委員への就任をお願いする。
  - 高橋暁委員からも交代の打診があったことが事務局より報告された。検討の結果、引続き(社)全国地質調査業協会連合会から委員を派遣してもらうこと、高橋委員に後任を選んでいただくことになった。
- 6. 来年度の支部体制案
  - ・ 平成 19 年度支部体制（支部長・副支部長・顧問・監査・幹事長・副幹事長・リーダー幹事）が紹介された。
- 7. 次年度交付金の交渉報告
  - ・ 本部との交渉結果、前年と同額（1,600 万円）になった。
- 8. G 活動の報告事項・進捗状況・今後の予定
  - (1) ニュースレター
    - ・ 2 月発行予定の No.11 が遅れている。副支部長の原稿を催促している。
    - ・ No.12(5 月号予定)の発行予定は変更しない。
  - (2) 出張講座 ・ 報告なし。
  - (3) 工業高校の土質試験への支援 ・ 報告なし。
  - (4) 工法協会との交流会
    - ・ 支部強化委員会でも企画を進めることになった。 6 月頃の実施に向けて担当を決めて企画を推進。

(5) 講習会等の行事の企画案

- ・「多摩川ウォークラリー」の企画を推進することになった。
- ・赤木先生を主幹事とした「地盤技術者のための英語講座」を実施することになった。

(6) G-CPD の活用

- ・CPD 制度を持っていない機関として各種工法協会へ講習会共催の検討などを依頼する。

(7) 学校関係特別会員向けのサービス

- ・進展なし。来年度、アンケート実施などを含めて積極的に活動を行う。

(8) 若手会員対策（会費減免）

- ・来年度に試行する。まずは G-CPD メンバーを積極的に増やすことで始める。（このメンバーに対して支部限定の特典として、支部行事を会員価格で参加できるようにする。）

(9) IS-Tokyo2008：TC33（洗掘）

- ・現時点では、企画総務 G のワークはない。

(10) JGS60 周年全国大会

- ・現時点では、企画総務 G のワークはない。

(11) 平成 20 年度土と基礎の特集号

- ・末政幹事より、「編集委員会」が「土と基礎」特集号（平成 20 年度）の一つに支部企画のものを考えていることが報告された。
- ・その提案へ参加すると回答することになった。（即時、編集委員会へ回答を伝えた。）

(12) 本部への活動報告の提出状況

- ・副幹事長より、平成 19 年度 事業計画・予算案を 3 月 6 日に提出したことが報告された。
- ・平成 18 年度 事業・決算報告（事業報告、支部貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、補助金等、期限 4 月 6 日）の作成状況が報告された。これらについては、4 月 4 日の運営委員会で報告する予定である。

(13) 来年度の担当配分

- ・副幹事長より平成 19 年度の担当配分案が提出され、承認された。

次回開催予定：4 月中旬開催とし、メールによりスケジュールを調整する。

以 上